

檜原村ディープ歴史探索「忍弓術」身 近な素材で弓を造り、放つ

檜原合戦に思いを馳せ、武芸のひとつである弓術を体験。手作り弓を一から造り、山から放とう！

日時

2018年10月12日(金) 09:30 - 14:00

場所

本宿地区「ふるさとの森」

このツアーについて

東京の「村」檜原村（ひのはらむら）にある「ふるさとの森」。
檜原村からこの森の管理を受託している「NPO 法人フジの森」主催のプログラムです。
数年来このふるさとの森の整備に関わってきた風魔一党指南役の甚川が案内人をつとめます。

このエコツアーでは、講義、弓づくり、山に入って弓矢の実射を行います。

竹で弓をつくり、山から放つ！

檜原村の玄関口に、中世の山城、檜原城があります。南北の秋川が合流する要衝で、重要な役割を果たしていました。その檜原城を臨む気持ちの良い丘から、思い切り弓を射る、他では出来ない体験をして頂きます。弓は、竹で手づくりし、お持ち帰り頂くこともできます。

山道を 15 分から 30 分歩くことができれば、登山経験などなくても大丈夫です。もちろん武術経験も必要ありません。歴史に思いを馳せながら、古の侍の心に触れる体験がしたい方は是非ご参加ください。

リアルな山城防衛を体験！

檜原城には、北条氏照家臣の平山伊賀守氏重を筆頭とする武士が、西側の甲斐の國の動向を探るなど重要な任務を行っていたと云われます。

武士はその嗜みとして「武芸十八般」（弓術・騎馬術・槍術・剣術・水術・抜刀術・短刀術・十手術・銃術・含針術・薙刀術・砲術・捕手術・柔術・棒術・鎖鎌術・鍔術(※もじり＝袖絡み)・隠術)を磨くことが求められていました。なかでも弓術は、山城の防衛にとって重要ですので、この地域でも修練されていたことでしょう。

今回は、弓道やアーチェリーなど市販のものを使うのではなく、檜原に自生する竹を加工して、即席の弓をつくることから始めます。刃物や火を使うので、十分気を付けて行いましょう。

※弓道やアーチェリーの稽古・練習ではありませんので、予めご了承ください

料金

¥6,000 (ジャンボタクシーにて 9 名利用の場合)

¥7,000 (普通タクシーにて 4 名利用の場合)

※人数によって金額がことなります。